

平成20年度
三番瀬再生支援事業補助金
事業実施団体による
実績報告発表

参考資料

補助事業成果報告書

1 補助事業名

御菜浦・三番瀬ふなばし港まつり

2 補助事業の実施結果概要

申請書の同じ項目と比較し、この補助金を使用して行った事業の概要を簡潔に記載してください。

(1)実施事業内容の概要

三番瀬(場)の保全と再生を促進するために、そして、場に関係する水系に居住する市民と、それを管理する行政、場で生活する漁師、水面を利用する港湾業務者、場を取り巻く事業者に協力、参加を極力要請し、これら全ての者に場の再認識・再確認を押し広げるために、場を見て、食べて、論ずる会場を、場に昔から関わる船橋漁港を中心に展開した。

具体的には、漁船による場の見学会、魚介類などの場の産物を利用した屋台、場に関する漁業などについての貴重な資料の展示、更には会場を楽しく演出するための郷土芸能や場に似合うプロによる音楽演奏なども多く取り入れた。加えて、集客のための市の演出(場の新鮮な魚介類・農作物などの産物の実費販売やフリーマーケット会場の提供等)も行った。

これらの事業は、20年10月11日(土)に実施し、昨年以上の集客である15,000人を目標に宣伝活動を行ったが、午前中の雨による影響で集客8,000人となった。なお、準備等への従事者はおおよそ延べ260人となった。

(2)事業の実施経過

4月 組織の立ち上げ及び団体、企業、個人への参加の呼びを行った。

5月～9月 月1回の定例会(実行委員会)、必要に応じ臨時の会議を行った。

10月 事業の開催を行った。

11月 まとめと総括の実行委員会を行った。

(3)事業の実施による三番瀬再生・保全や地域住民が親しめる海の再生への効果の発現状況

◎アサリ漁師によるアサリ船での漁場(三番瀬)見学では、総ての参加者に驚きと感動を呼んだ。海水の透明度、海底の砂地の清さ、見渡す限りの広がり、そして海苔漁場のノリヒビの数、海面を覆う無数のカモ、高く飛びはねる鯛(ボラ)、総てが発見であり初体験でありどれも人知を超えるもので、この場の保全と再生を理解させるに充分だった。

◎参加者にとっては、東京湾(三番瀬)の魚介類の販売や、食すことで、東京湾(三番瀬)が食糧の供給源であることについて驚きと共に再認識の機会となり、東京湾のイメージの高まりが見られた。

◎ポートパークや漁港そして高層ビル、後背地の景観はフシャーマンズ・ワーフにも似て参加者の心を捉えた。ジャズ、パカ面踊りなどのパフォーマンスは来場者を楽しませた。ジャズ演奏を聴き入る来場者、演奏者の姿はジャズの似合う水辺の街を強く印象付けた。

船橋の賑わいは、歴史ある九日市からだった。

地産地消の『市』再現！



千葉の農産物から、東京湾・

三番瀬の魚貝類。日用品から

リサイクル品など各種出店。

● 伝統芸能やジャズバンドも出演。

● 三番瀬の恵みを通して、三番瀬を
多くの人に楽しく知ってもらう。

● 地域の方と共に実施し、海を
活かしたまちづくりにつなげる。

● 県民との協働を通して、三番瀬の
開催趣旨 保全を進める。

三番瀬フェスタ'08

浦菜御
三番瀬

船橋

港まつり

10月11日(土)
10時～16時

雨天の時は12日
予備日・13日(祝)

主催 御菜浦・三番瀬 ふなばし港まつり実行委員会
後援 千葉県／船橋市教育委員会・観光協会
協賛 船橋市湊町連合自治会

会場：湊町1丁目船橋漁港及び周辺

駐車場はありません



● 船橋駅から徒歩15分。
会場が広くなりました。

■ 実行委員会委員長：大野一敏 ■ 副委員長：相澤友夫、松本洋一 ■ 実行委員：船橋市観光協会／船橋市漁業協同組合／NPO法人ベイプランアソシエイツ／東京湾うおごころ喰ラブ／まちネットふなばし／(株)石友／ロハス・船橋・港人／大地を守る会おさかな喰楽部／東京湾アオサプロジェクト／(株)ダイサン／プレシャス船橋／遠忠食品(株)／味処・轟／家庭倫理の会船橋市／日本大学理工学部船橋キャンパス近藤・山本研究室／前川清デザイン室／船橋市有価物回収協同組合／三番瀬を守る署名ネットワーク／太陽油脂(株)／サッポロビール(株)千葉船橋工場／船橋海洋少年団／海光物産(株)／かねはち水産(株)／かねはち産業(有)／麒麟ビール／日本鯉学会／ビオトープ研究会／大地を守る会／NPO法人情報ステーション／千倉町南部漁業販売株式会社／生活協同組合パルシステム千葉／京葉港サービス(株)／つり滝

補助事業成果報告書

1 補助事業名

三番瀬カレンダー制作

2 補助事業の実施結果概要

申請書の同じ項目と比較し、この補助金を使用して行った事業の概要を簡潔に記載してください。

(1)実施事業内容の概要

三番瀬をもっと身近で感じてもらうために、20年4月に実行委員会を立ち上げて、カレンダーを見たら、是非三番瀬に行きたくなる工夫として、地図と各月の行事を盛り込んだものにして、配布対象として、特にこれから一番三番瀬によく接するであろう子供達に焦点をあてカレンダーを作成しました。

そして、三番瀬を囲む四市(浦安・市川・船橋習志野)小学校・中学校・高等学校(私立も含む)と社会教育施設など約500ヶ所に贈呈しました。

その他1,500部は関係機関等への実費配布・贈呈に使用しました(合計2000部作成)。

なお、本事業の企画やカレンダー配布等に携わった人数は延べ360人です。

(2)事業の実施経過

- 7月 予約用カレンダー配布・ミニコミ紙が記事掲載
- 10月 お采浦三番瀬ふなばし港まつり・市川市民祭り・市川健康祭りに展示・予約受付
- 10月21日 船橋市役所で記者会見・県の三番瀬関連部署に贈呈
- 10月 COP10(韓国)にてラムサール事務局のアジア担当に贈呈・ブースにも展示
- 10月 カレンダーを三番瀬を守る署名ネットワークのHP(miyakodori-sanbanse)に掲載
- 11月 海岸環境調査研究会のHP(海岸情報ステーション)にカレンダーが紹介される
- 11月 三番瀬再生推進室の協力で、4市の教育委員会指導課を通じて、市立小・中学校長宛への手紙2枚(県・団体)を添付して贈呈。
- 11月 バード・フェスティバルに展示・実費配布
- 12月 4市の教育委員会・社会教育課から、社会教育施設の館長宛への手紙を添付して贈呈
- 12月～1月 私立の小・中・高校と県立高校は団体の学校長宛の手紙を添付して個別に贈呈
- 12月26日～1月末 船橋市本町通り商店街の展示ブースに展示

(3)事業の実施による三番瀬再生・保全や地域住民が親しめる海の再生への効果の発現状況

7月ミニコミ紙で紹介されると、電話での予約が高齢者の方々から、かなりありました。理由は「自分は三番瀬に行けないので、せめて写真で眺めたい」、「孫に三番瀬を教えてやりたい」などでした。

子供に焦点を絞っていたのが、意外なところから破られ、幅広い年齢に本企画が受け入れられたものと思われまます。

また、10月新聞記事を見て注文された方々は、神奈川・埼玉・東京などにひろがっていますし、「ぜひ春になったら三番瀬にお伺いしたいです」、「来年も続けて下さい」、などの反響もありました。

学校に配布したところでは、「カレンダーに感動したので、子供の環境教育に使いたいのでクラスの数分の注文をします」との反響もありました。

漁業関係者の方々にも、三番瀬を紹介するのにはちょうど良いとのこと好評でした。

加えて、本町商店街の展示は、正月大神宮初詣の方々に三番瀬の存在をアピールしました。

以上のとおり、当初の地元学校の児童生徒に対する広報効果のみならず、幅広い年齢・地域の方に対する三番瀬に関する広報効果が現れました。



2009 Calender

三番瀬で会いましょう

表紙撮影：宮山 茂夫（東京新聞カメラマン） 題字：東 素子

企画制作：三番瀬カレンダー制作実行委員会 千葉県三番瀬再生支援事業の助成金を受けました。



三番瀬をラムサール条約登録地に！

補助事業成果報告書

1 補助事業名

「いのちにぎわう三番瀬コンサート」 三番瀬の音、生き物、景色を表現する音楽会

2 補助事業の実施結果概要

(1) 実施事業内容の概要

- ・平成21年2月22日午後3時から午後6時30分まで、船橋駅前・船橋FACE6階「きららホール」で、「360°三番瀬の響きコンサート」と題して実施しました。
- ・三番瀬の音の記録を調査し編集、コンサートにて発表しました。また、三番瀬に関する詩の募集を行い、応募作品の中の「お元気ですか三番瀬」について、曲を付し新たな作品として披露しました。他、2つの詩とエッセイが作られ舞台上で披露し、既存の作品と併せ三番瀬をテーマとする歌は5曲歌われました。
- ・観察会と音の記録調査で三番瀬のいきものに直に触れるチャンスと新たな三番瀬散策体験者の拡大になりました。
- ・後援の依頼によって新たに環境団体以外の団体（船橋市漁業協同組合・船橋商工会議所・(財)船橋公園協会）などの理解者の拡大と商店街の協力（ポスター掲載）が得られました。
- ・プログラムへの広告掲載への協力を得ることで三番瀬の環境の大切なことの理解者を拡大できました。
- ・当日のコンサート来場者350人、出演者57人、スタッフ28人。準備等の延べ関係者数150人。

(2) 事業の実施経過

8月3日～2009年2月まで約10回に渡って、音の記録講習会、現地調査、音の調査記録の整理と編集作業
9月～ 出演予定者と出演交渉
11月9日 三番瀬観察会（出演者と自然と文化研究会のメンバー。田久保晴孝氏の案内）を開催
11月20日 三番瀬再生会議等にてコンサートの仮ちらし配布
2009年
1月 ちらし（延べ10000枚）・ポスター（50枚）・チケット（1000枚）印刷・納品・配布作業
1月 マスコミに掲載依頼の投函をする（船橋地域情報誌を含めて）
1月27日 プログラムの段取りなど音楽監督、舞台監督との打ち合わせ
2月6日～21日 6回・稽古を実施。（船橋女性センター会議室）
2月16日 プログラムの入稿・印刷
2月19日・21日 最終準備
2月22日 コンサート実施

(3) 事業の実施による三番瀬再生・保全や地域住民が親しめる海の再生への効果と発展状況

- ・千葉県・船橋市の後援により、チラシ配布等公共機関及び地域団体、地域商店街への三番瀬の再生に対する意識の前進になり、現状の三番瀬の景色をアピールすることにつながりました。
- ・三番瀬の観察会で、体感したことが詩やエッセイとして表現され、作曲され、歌となって、市民と楽しみながら三番瀬をより身近に感じる事が出来ました。そして、各方面にも発展のある刺激となりました。
- ・三番瀬の音の記録を千葉県立中央博物館の「地域の音環境講座」の発表会3月15日に発表報告することへの発展となりました。音の調査を季節ごとに挑戦することを課題にしたいと思います。
- ・新しく作詩・作曲された楽譜をプログラムにも折り込みました。今後、広める努力をしたいと思います。
- ・演奏者、写真家、参加者、主催者が一体となって三番瀬の自然を心に刻む1ページになったことでしょう。この波紋がうねりとなって発展することを願っています。

三番瀬再生支援事業の補助金を受けて開催します。

360° 三番瀬の響きコンサート

開場:14:30 船橋駅前
2009・2・22 (日) 15:00~17:00 きららホール

千葉県に関わりの深いアーティストの協力による三番瀬の魅力、風、空、生きものの声、東京湾に残された干潟と浅瀬、海の響を歌とリズムと語りでつづるコンサートです。三番瀬360°全開するでしょうか?ご期待ください。

三番瀬の四季(土田明子作詞、安藤由布樹作曲)・三番瀬の発見(土田明子作詞、安藤由布樹)・よろ太の三番瀬(渡辺秀明作詞、西城宣子作曲)・耳をすまして(西城宣子作詞作曲、千葉合唱団第17期研究生補作)・新しい創作曲が加り、5曲になります。

新たに、三番瀬の音の記録と朗読に挑戦しました。

*音と写真のコラボレーション「東京湾三番瀬から…」 写真とスライド「ギターで語る三番瀬」などです。

演奏者

伊藤耕司(チェロ)
黒田育子(フルート)
北野善知(ピアノ・作曲)
佐野雅子(ピアノ)
岡田由美子(ピアノ)
渡邊悦子(メソソプラノ)
尾形晃子(ソプラノ)
ファニービー
(女性4人のヴォーカルグループ)
中村万里(朗読)
片桐千里(朗読)
千葉合唱団
ちばぞうれっしゃ合唱団

音楽監督:安藤由布樹



協力者

大庭照代(音の記録指導)
自然と文化研究会theかもめ
(三番瀬の音の記録)
岡村武(舞台監督)
磯野順一(エンディング)
遠山元子(日本画)
この広さを…

音と写真のコラボレーション

東京湾三番瀬から

17:30~18:30

展示とスライド:渡辺行雄(写真)
ギターで語る:高谷秀司(作曲)

チケット:1800円 こども:800円

主催:自然と文化研究会theかもめ

後援:千葉県/船橋市/千葉県立中央博物館/(財)WWFジャパン/(財)日本自然保護協会/(財)日本鳥獣保護連盟/日本湿地ネットワーク
(財)船橋市公園協会/船橋商工会議所/船橋市漁業協同組合/ちば生物多様性県民会議/奥野かるた店
協力:三番瀬を守る署名ネットワーク/千葉の干潟を守る会/千葉県野鳥の会/市川緑の市民フォーラム/三番瀬を守る会/千葉県自然保護連合/千葉合唱団
ちばぞうれっしゃ合唱団/NPOとんぼエコオフィス/平和を願う音楽家の会 連絡先:自然と文化研究会 TEL:047-407-1720 Email:hosikuzu@eos.ocn.ne.jp